



空間コメント

テラコッタルーバーを、横に三列重ね合わせることで、ボリューム感のあるルーバーを表現しています。また、横方向の連続性を配慮したスケールの大きい建築物です。全体を覆うカーテンウォールとの対比も効果的で、開口部の金属フレームとの取り合いが美しいディテール処理になっています。テラコッタルーバーは焼物素材の特徴である焼ムラによる色幅を表しており、自然素材ならではの暖かみのあるモダンな建築物に仕上げられています。側面にはカーテンウォールを分断する正方形の断面のテラコッタルーバーが1階から6階まで通して縦方向に設置されています。

DATA

設計 : 久米設計  
 施工 : 大林組  
 所在地 : 東京都世田谷区深沢6-8-18  
 竣工 : 2006年7月

商品情報

テラコッタルーバー : TL-60×60×/特注色+MG  
 TL-600×65/特注色+MG  
 TL-450×65/特注色+MG

外観ディテールアップ



テラコッタルーバーディテールアップ

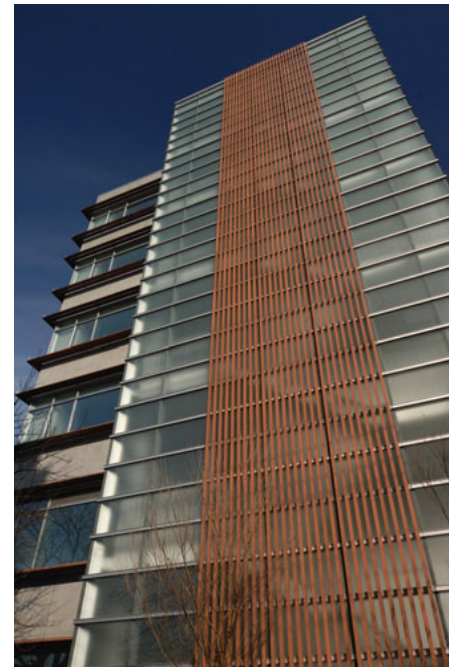
外観



外観全景



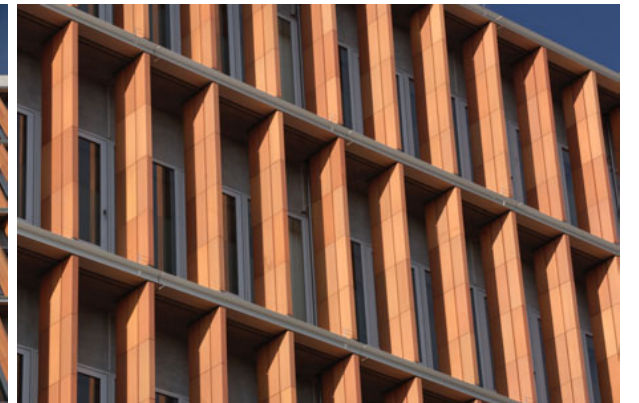
東側見上げ全景



南側見上げ



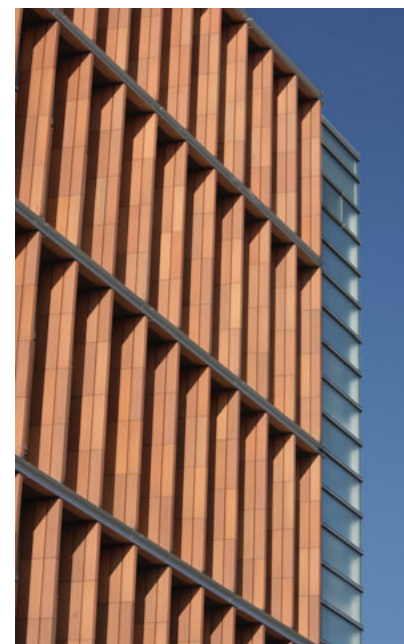
東面見上げ



東面の開口部の連続性



西側のテラコッタルーバーの納まり



東面ルーバーディテール



南東側全景